



中池太郎一先生頌徳碑



光町尽三郎翁頌徳碑

光町尽三郎翁頌徳碑

光町尽三郎翁は、天保九年（一八三八年）の十月五日に生まれました。若い時は学問・武芸をはじめ、仏典も学びました。そして、明治十六年に福木村戸長に、そして、明治二十年には、福田・馬木・小河原村戸長に任命されました。

その後、明治二十二年には、選挙によって福木村村長となり、同三十四年に、いったん辞めましたが、明治三十六年には再び村長となり、明治四十四年に亡くなるまで、終生その職にありました。

没後、村民が尽三郎翁の功績を称え、大正元年八月に、頌徳碑を上条地区の県道筋に建立しました。この場所は、現在、バスの「記念碑前」停留所の近くです。

中池太郎一先生頌徳碑

中池先生は、明治の初めに生まれました。明治後半に福木尋常小学校の教員として活躍され多大な功績を残されました。

先生は、校舎が若宮地区の若山家の隣にあった頃や、西善寺にあった高等科でも、子どもの教育にうちこまれ、多くの子どもたちを育てられました。

没後、教え子達が集まって、先生の遺徳・功績を称えて、頌徳碑を建立しました。

この頌徳碑は、元は寺分東地区にありましたが、平成二十年十月に道路拡張のため、現在の「なかずの池」に移設されました。